

「人吉よさこい祭り」開催による更なる人吉球磨の魅力発信事業

【団体名】人吉よさこい銀翔会

地域の現状・課題（取組みの背景）

- 人口減少が進み、地域の活性化が喫緊の課題となっている人吉球磨地域のコミュニティの継続及び賑わい創出を目的に、平成15年度によさこい銀翔会を結成。人吉球磨を代表する民謡「球磨の六調子」をアレンジした「KUMAKOI六調子」の普及を図るKUMAKOI祭りのスタッフとして活動を開始しました。
- 平成28年度に単独主催で第1回よさこい祭りを開催し、活動の幅を広げる中、令和2年7月豪雨災害が発生、さらに新型コロナウイルス感染拡大の影響で地域経済の停滞は一層深刻化しましたが、人吉球磨地域の創造的復興のための取組を継続してきました。

取組みの概要

- ◆ よさこい祭りの開催
 - ・ 街なかパレードでは2千人を超える観客を集めました。
 - ・ コロナ禍の中、オンラインを活用した合同演舞を行い全国のマスコミで紹介されました。
 - ・ 聴覚に障がいがある方も楽しめるよう手話による演舞の説明や要約筆記を実施しました。
 - ・ 祭り会場での募金活動や清掃活動等を実施しました。
- ◆ 復興イベント「人吉復興応援感謝祭」の共催
 - ・ 県外によさこい30団体を招聘しました。
- ◆ SNSによる人吉球磨地域のPR
 - ・ 農家宿泊体験の様子を全国に情報発信しました。



全国チームとのオンライン演舞



祭り開場での募金活動

取組みの成果・現在の取組み状況

- 約20年の活動の中で取組の磨き上げを行い、よさこい祭り開催のスタイルを確立。第7回（R4年度）から自主財源で開催し自走化を実現しました。
- 人吉スカイランタンフェスティバルと共催して人吉球磨地域の恒例イベントとして定着させ、観光・宿泊客の増加や、県外によさこい団体との交流を通じた関係人口の拡大など経済効果の向上に貢献しています。
- 関係団体と連携して復興イベントを開催するとともに、手話通訳の理解を深める活動や高齢者の活動の場づくり、地域の清掃活動などの社会貢献活動にも継続して取り組んでいます。



コンテナマルシェ会場での奉納演舞



青井阿蘇神社での奉納演舞



復興応援感謝祭での演舞